

【2015年7月27日・ゴルフ】

ヨネックスのピンクシャフトで快進撃！

アン ソンジュがセンチュリー21レディスで今季初優勝 若林舞衣子は4位タイ、レジェンズツアーでは川久保百代が2位

7月24日～26日まで行われた日本女子ツアー「センチュリー21レディスゴルフトーナメント」において、ヨネックス契約のアン ソンジュプロが今季1勝目をあげました。

シーズン序盤は、怪我の影響で苦しい試合が続きましたが、今大会ではこれまでの鬱憤を晴らす会心のプレーを見せたアン ソンジュ。中でも初日は、トーナメントコースレコードとなる64ストロークをマークし、初日から首位を守る完全優勝を遂げました。



なお、今大会でアン ソンジュは、ヨネックスの新シャフト・レクシス カイザ M を使用しての優勝となりました。今シーズンから使用するこのシャフトは、直進性の高い弾道とピンクカラーが特徴で、「ピンクシャフト（カイザ M）に変えてからフェアウェイキープ率が上がり、飛距離も伸びています。この優勝はピンクシャフトのおかげです！」と、その性能を高く評価をしています。同じく今季からレクシス カイザ M を使用する、弊社契約の若林舞衣子プロも「飛距離が伸びました」と評価しており、同大会では4位タイに入り獲得賞金は早くも1,900万円を突破。



昨年は悔しいシード落ちを経験しましたが、今季はベスト10フィニッシュが4回と優勝争いに加わる活躍を見せています。

また、7月23日～25日まで行われたLPGAレジェンズツアー「LPGAレジェンズチャンピオンシップ アイザックカップ」では、レクシスカイザ M を使用する弊社契約の川久保百代プロが2位に入る活躍。各ツアーでヨネックスのピンクシャフト使用選手が快進撃を見せ、シャフトの性能の高さを証明してくれました。

REXIS KAIZA-M (レクシス カイザM)



【製品特徴】

- これまでのシャフト製法の常識を超えた、マルチレイヤードワインディング製法を採用。極薄のカーボンシートを均一に巻くことで、360° 精密でバラつきのない肉厚を実現。硬さのバラつきが少なく均一なしなりが得られるため、常に芯で捕えやすくなりミート率が向上します。
- 当たり負けしない強いインパクトで直進性の高い弾道を生む中調子モデル。また、インパクトあるピンクのカラーリングで、コースでも映えるデザインです。

【製品概要】

商品名：REXIS KAIZA-M(レクシス カイザM)
素 材：極薄マルチレイヤードグラフィイト
価 格：シャフト単体・・・・・・・・・・ ¥33,000+税
発売日：2015年6月下旬
原産国：日本

モデル名	サイズ	シャフト重量(g)	トルク(°)	キックポイント	振動数(参考)
REXIS KAIZA-M	5R	57	3.9	中調子	233
	5SR	59	3.9		243
	5S	60	3.9		253
	5X	62	3.9		263
	6SR	64	3.3		248
	6S	66	3.3		258
	6X	68	3.3		268
	7S	77	3.0		263
7X	79	3.0	273		

※振動数は EZONE Tri-G (ヘッド重量 197g) の 45.25 インチ時の目安となります。

